

# 中学生からの提案 次世代へつなげるまちづくり

## 「誇りと愛着を持てるまち 恵那市を目指して」



市内中学生が市長らに次世代につなげるまちづくりを提案

10月11日、恵那西中学校で市内中学校の生徒が若者の視点から可知市長らにまちづくりの提案を行う懇談会が開催されました。

懇談会は、「誇りと愛着を持てるまち・恵那市を目指して」をテーマとし、若者の意見を市の施策に反映させることを目的に開催されました。懇談会には、市内8中学校から各2人ずつの16人をはじめ、市長、市議会議員、教育長、校長会長（安藤史郎恵那西中学校長）、総合計画審議会長（有本信昭岐阜大学教授）、司会者（大塩康彦市企画部政策調整課企画監）の20人が参加し、約2時間に行われた開催されました。

生徒からは、若者の働く場所の確保や交通など身近な問題から、観光、福祉など多方面にわたっての提案と同時に、自分たちの行動についても発表。各中学生の提案に対する質問や提案に賛同する意見なども出されたほか、中学生が希望する職業や明知鉄道の料金、図書館の利用などについても意見を聞くことができました。

今回は、中学生から提案のあった中から主なものの概要について紹介します。

### 恵那西中学校



近藤要平君



安田季那子さん

#### まちづくりのアイデアを市民から

市が中心となり活動を行うことも大切ですが、市民が活動の中心となることで恵那市に誇りと愛着を持てる市民が増えると思います。具体的には市民にまちづくりのアイデアを公募し、各年齢層、各会から代表で組織された選考委員会で行われたアイデアについての選考を行います。採用されたアイデアには市から予算をつけ、アイデアを出した人を中心にしてチームを作ります。アイデア実現に向けて、企画運営などをすべて市民で行います。

#### きれいな川を取り戻そう

僕が幼かったころは、川は今よりきれいで遊んでいる人もたくさんいました。しかし現在は、昔の懐かしさく、美しい景観が失われているようです。恵那市の川を日本一、きれいになりたいと思います。

こうした市民が中心となるまちづくり活動を通して、市民のネットワークが広がる良さもあると思います。

#### みんなが楽しめる大型公園を

若者に向けた施策として、万博会場にあった愛知青少年公園のようなお年寄りから子どもまでみんなが楽しめる大型公園の建設を提案します。

具体的には、市民プールやスケートボード、マレットゴルフ場、フットサル（5人制の室内サッカー）などのスポーツ施設を作るといいと思います。市民プールや東海地域でもあまりないスケートボード施設を作るといい、市外からの利用者を増やすことにも大変効果的です。

雨が降っても家族で利用できるアシレチックや遊具を屋内外の両方に作るといいと思います。またパークキューやスポーツができる広い芝生のエリア、お年寄り向けの日帰り温泉を作るといいと思います。温泉は友達で誘い合っても楽しいですし、スポーツをした後、汗を流すのにも最適です。お年寄り向けにはウォーキングなどのコースを作ってもいいと思います。

大型の公園は、行きやすいところに造り、車などの移動手段がない人たちのためにバスなどを出すことも大切なことだと思います。

### 恵那東中学校



佐藤祥平君



大脇隆之君

#### 若い世代で大文化祭を開く

これからの恵那市で文化的な活動を盛んにしていくために文化センターなどを利用して、市内の小学生、中学生、高校生の若い人たちで大文化祭を開きたいと思います。その理由として次のことが挙げられます。

- ① 大勢で力を合わせて何か一つのものを作ったときの達成感と、クラスのみならず仲良くなったという充実感、その二つをみんなと味わいたいからです。
- ② 文化祭は一緒に取り組んできた仲間だけでなく、興味のある分野で発表する他校の生徒とのかかわりを持って、たくさん友達ができるからです。
- ③ 20歳代・30歳代の文化活動への参加がとて少ないという問題を解決したいからです。現在の文化振興会や文化協会では、若い世代がすく少ないという話を聞きました。このままでは若い世代の興味が薄れ、市の文化活動の活気が無くなってしまう。

このままでは若い世代の興味が薄れ、市の文化活動の活気が無くなってしまう。

#### 安心・安全な恵那市を目指して

道路の整備および歩道の拡張を  
人通りの多い道路や国道19号沿いの道路は整備されていますが、人通りの少ない道路は舗装されていないところや、歩道と車道が全然区別されていない白線だけのところもあります。徒歩や自転車や登校のときなどに、道路が狭く車とすれすれで危険です。道路が狭く車とすれすれで危険です。

例えば長国寺前の道路は、一日中交通量が多いにもかかわらず、十分な歩道が確保されていません。特にカーブは大型自動車が、白線を踏みながら曲がるので、歩行者との間隔がほとんどなく危険です。このような危険な個所の道路の整備および歩道の拡張をしていただきたいと思えます。

障害者、高齢者疑似体験グッズを使って恵那市の町を歩いて思ったこと

とは、怖いという感覚でした。段差につまずいたり、手すりが欲しいところもたくさんありました。このように障害者や高齢者では、歩くことが困難で、まだ住みやすい町とはいえません。

最近では、幅を広く取った歩道や手すりのついた歩道などができてきています。このようなことをどんどん広めていって、障害者や高齢者にとって住みやすい恵那市にしたいです。

柘植雄匠君 渡邊小百合さん



### 恵那北中学校

#### ダム湖を生かした観光地を

恵那市は恵那峡などの観光スポットがある観光都市だと思います。もつと地域の特色を生かした観光地を作っていく必要があると思います。例えば市内にはダムがたくさんあります。このダムを使った観光地を作るといいのではでしょうか。水は工業、農業、飲料用など大切な資源です。恵那峡ばかりでなく、阿木川ダムや中野方、笠置のダムなどを有効に結び付け、水と触れ合うことをテーマに観光スポット、体験ス

ポットを作り、観光客が増えれば、恵那市は一層発展していくと思います。

#### 中学校周辺に老人福祉施設を

市の周辺部に働き場が必要だと思っています。例えば老人介護施設の建設です。周辺部でどんどん高齢化が進んでおり、若者が少なくなっています。このことに目を付け、恵那北中学校の周辺に介護施設を建設すれば、業者の増加や働き場の確保にもなり、高齢者と中学生との触れ合いや体験ができると思います。

#### 若者の職場と便利なまちを

恵那市の人口を増やすために二つの提案をします。

一つ目は職場を作ることです。それは人口減少には若い人たちが大きく関係しているからです。若い人たちが好む職業は主に大きな都市を中心としたものばかりで、職場が無いため、どんどん職場がある大きな都市に移って行ってしまいます。だから職場を作ることにより、大きな都市に行かなくても好きな職業に就くことができます。そうすれば人口減少を止め、保つことができます。

二つ目は山間地の道を直すことです。私の住んでいる飯地町は、遊びに行くにも、通勤通学をするにも

と思います。

イベントを今より増やし、いろいろな特産物売り出すようなフリーマーケットはどうでしょうか。また伝統行事や恵那市の有名人、さらに中山道についてのイベントもいいと思います。イベントの数を増やす中で、より中身を充実させることも大切だと思います。例えば山岡の寒天や岩村のお酒、串原のへぼなどもつと特産物をアピールし、イベントの時にどんどん売り出せればいいと思います。

観光地ツアーとして市内にいくつかのルートを設定し、自分の目で確かめてもらえば、もつと恵那市のいいところが分かると思います。特産物を使い、いろいろなイベント列車を企画し、明知鉄道の更なる利用も大事だと思います。このようにして多くの人が集まれる恵那市にしたいと思っています。

加藤利弥君 樋口秀祐君



### 山岡中学校

#### 市内をできるだけ活発にするために

工場を誘致し、住宅地を整備人口減少の原因の一つである若者

の流出を防ぐため、市内に魅力ある職場をつくり、工場を誘致し、住宅地をつくるというのはいかがでしょうか。武並町や三郷町などは中央自動車道や豊田への道路も整備されており、自然が豊かで、美しい空気、そして水があふれています。工場の立地条件としては、最適でしょう。また住む人にとっても安らげる、住んでみたい町としてアピールしないのもつたないと思います。また住みやすい町をアピールするために交通網を整備して、通勤通学をより便利にすることが大事だと思います。高齢化が進む現在、高齢者の足となるのは主にバスだと思います。恵那東中提案の文化祭にも移動手段にバスが必要です。国際交流で国際感覚を

#### 国際交流で国際感覚を

山岡中学校の3年生はマレーシア研修に行き、国際間のコミュニケーションの大切さ、分かった合えた時のすばらしさ、英語の重要性を実感しました。これからは国際的な感覚を身に付け、英語が話せる人が必要な時代となります。これからの時代を担う私たちの教育に未来への投資として海外研修の継続をしてはどうでしょうか。

ても不便です。そのため移動に楽な都市に出て行ってしまいます。道を直せば時間に余裕ができ、通勤通学も楽になります。人は便利で暮らしやすいほうを選んでしまうものです。だから道をきれいにし、暮らしやすくすることに、人口減少を止めることができます。このようにこの2つのことを行うことにより、町を暮らしやすくしながら、過疎化を防ぐことができると思います。

鈴木彩那さん 西尾和馬君



### 岩邑中学校

#### みんなが住みたいと思うまち

みんなが住みたいと思えるようにするには、豊かな暮らしと安心して暮らせるということが大切だと思います。そこで住みたいと思えるために次の提案をします。

#### バスなど教育に支援を

教育関係について、もつと補助を増やしたらどうでしょうか。例えば今までは部活動の試合などの時、移動のときにバスを使うことができず、移動のときにバスを使うことができず、不便です。そのバスを使えるよう

#### 合唱など学校間交流を活発に

山岡中学3年生に聞いたまちづくりの提案では、大きく分けて、教育の充実、過疎化対策、少子高齢化対策、交通網の拡充、観光の政策、雇用政策と分類されます。この中で生徒が強く願っていることは、教育の充実、特に学校間交流を活発にして欲しいということです。例えば山岡中学校は合唱がとても盛んなので、他校と合唱交流をしてみてもいいでしょうか。また山岡町で行われている親子学園を恵那市全体に広げてみてはどうでしょうか。親子学園は2週間に1回地域間で小学生や中学生を対象とした講座を開くもので、陶芸や囲碁などいろいろな講座に参加することで、地域の人々との交流や貴重な体験ができると思います。

川村将司君 村松彩香さん



### 明智中学校

#### ふるさとに誇りを持つ

明智町の大きな祭りには5月の光秀祭と10月の八王子神社の秋祭りがあります。しかし今この二つの祭りは衰退してきていると思います。そ

にすることで、市内に住む子どもたちや、保護者はとても助かると思います。

#### バスや鉄道を便利に

もつと鉄道やバスを使いやすくしたらどうでしょうか。岩村から明知鉄道に乗った場合、恵那まで片道だけで470円もかかります。これは少し料金が高い気がします。だから車で送ってもらうようになり、明知鉄道の利用者が減ってしまうということもあると思います。バスで恵南から恵那に直接行くのは上矢作のバスしかありません。もう少しほかの地区でも使えるようにすると、すごく便利だと思います。

#### 図書館の整備を

文化でいうと恵那市には大きな図書館がありません。岩村にもあるにはありますが、みんな図書館と呼んでいません。もつと大きな図書館があれば、利用する市民が増えると思います。また文化センターの活用を高めていけるといいと思います。例えば東美濃ふれあいセンターのように映画をたくさん上映する機会を作ってみてはどうでしょうか。

#### 恵那市を有名にするために

恵那市を有名にするため、イベントをもつと活発にして、全国の人に恵那市をアピールすることが必要だ

こで町を活性化するために、次のことを提案します。

#### ① 地域産業の活性化

例えば無農薬野菜を有機栽培し、地域の大型店舗、ショッピングセンターなどで何軒かを取り扱ってもらうことです。これにより近隣の人は農産物を求めて集まってくると思います。ほかにインターネット販売、地域名のブランド名を付けた全国的な販売もできるといいと思います。

#### ② 高齢者の力でもちづくりを

明智町の日本大正村はほとんどがボランティアで、また高齢者の手で運営されています。高齢者の力を借りて町おこしをしてはどうでしょうか。同時に大正村の施設を増やしたり、宣伝をしたりするなど、これからの明智町、恵那市の活性化はその町の特徴を考えて明智町、恵那市だからこそできる、金では買えない「人」という財産で活性化していくのだと思います。

#### 「やさしい町、やさしい人」作り

高齢者に優しいまちづくりのために、次のことを提案します。① 交通の不便さをなくすこと タクシーなどの交通機関で高齢者を対象にしたサービスを実施すること。例えばバスが出る回数をもう少し増やす、タクシーの乗る回数の多

い人に割引をする、ポイントなどをためて割引などをすることです。  
②地域に住む人が高齢者に気を配る車を運転する人は狭い道はスピードを落として走ること、困っている高齢者がいたら声を掛ける、バスが満員なら席を譲るとか、当たり前のことができるれば、住みやすい町になると思います。それはお金が無くてもすぐ私たちにできることです。

③狭い道路の整備  
高齢者だけでなく、私たちも登校や下校のときに狭い道を通り、車が通るときに危ないと思うときがあります。狭い道を広くしたり、駐車する場所を作ったりして高齢者が安心して買い物に行ける道路を作って欲しいです。

このように高齢者に優しく住みやすい町には、お金により整備する面と、優しい心を育てる面が必要だと思います。

### 串原中学校



大嶋 幸樹君 平林 美紀さん

#### 伝統を受け継いでいくために

串原には中山太鼓という伝統芸能があります。中山太鼓というのは今

とを大切に育てる人が育てることが大切。市長さんと話す機会を増やすことなど、安心できる未来のため教育の充実したまちを望みます。⑤自然が豊かなまち＝恵那市の豊かな自然を自らの手で守り、環境に配慮した生活を送れる町になることを望みます。⑥産業が充実したまち＝大学を卒業しても地元へ戻ってこない人が増えていきます。もっと産業を発展させ、働く場所があるという安心のあるまちになることを望みます。  
⑦全体が発展するまち＝合併したばかりで、まだ旧市町村に格差があり、市内の知らない施設や情報がたくさんあります。みんなが平等に利用できる、情報を得られるなど市内どこに住んでいても安心というまちを望みます。

#### 安心して暮らせるための提案

安心して暮らせるまちにするため、自分たちが市長ならどんなことをするか考え、次の提案します。

①老人福祉施設を増やし、お年寄りとの交流の場を増やす。

老人福祉施設を増やし介護が必要となったとき、誰でも安心して利用できるようにします。また子どもとお年寄りとの交流の場を増やし、教育の充実へもつなげていきます。  
②市内全域にバス網を整備

から400年前から伝わる伝統のあるもので、岐阜県重要無形民俗文化財に指定されています。串原中学校ではこの伝統を受け継いでいくため、地域の方を講師として招き、毎週金曜日に中山太鼓の練習をしています。

なぜ僕たちが中山太鼓にこれだけ力を入れていくかというと、仲間と共に曲を仕上げていくときの真剣な取り組みを大切にしたいからです。僕は今年太鼓リーダーをやっており、その中で僕はみんなをまとめていくだけでなく、新しい恵那市の皆さんにもつとこの中山太鼓の素晴らしさを広めていくことで責任を果たしていきたくです。地域でのこうした活動を市内だけでなく、広く日本中に広げていくことでたくさんの方が恵那市を訪れてくれると思います。

具体的には、中山太鼓を広くアピールするため、中山太鼓を演奏する機会を今以上に増やしたり、ホームページに載せたりできるといいと思います。こうしたことが市の活性化につながると思います。市内には他にもたくさん伝統芸能があると思います。この伝統芸能をアピールするのいいと思います。

#### 人口と訪れる人について

私の住んでいる串原は人口が千人

誰でも市内を歩き来できるようにします。

③将来恵那市で働くという条件で大学までの学費を補助する。

奨学金希望者を公募し、将来の恵那市にとつて有望な人材を確保します。

④市民で森の手入れをする。自然を守る条例をつくる。

森林の日をつくり、市民で森の手入れをするなど森林の大切さを再認識する日とします。

⑤ボランティアによるまちのごみ拾いをする活動の機会をつくる。リサイクル活動を推進する。

市民一斉清掃日をつくるなど、環境改善につなげていきます。また広報紙などでリサイクルについて分かりやすく呼び掛け、リサイクルの意識を高めます。これらの活動は教育の場でも推進し、教育の充実につなげます。

⑥森林を生かし雇用の場をつくる。

上矢作中学校の机といすは、上矢作町のヒノキで作られています。このように恵那市で生産された木材を使い、家具などの工芸品をつくり、その技術を継承するとともに販売を推進し、雇用の場をつくりま

⑦各地の特徴を生かして観光産業を活性化させる。  
各地域の特産物や名所を紹介する

未満と、とても人が少ないところでありますが串原には温泉などもあり、ほかの地域から来る人がたくさんいます。そこで私は人口と訪れる人について提案したいと思います。

#### 若い人が働ける場所をつくる

人口を増やすために、若い人が働ける場所を作るといいと思います。例えば工業高校や商業高校の人が卒業してすぐに働けるような会社を支援するのいいと思います。

しかし働ける場所があっても、恵那市ではかなえられない夢がある人など出て行く人もいると思います。そこで出て行く人も恵那市や自分の住んでいる地域に愛着を持ち、自慢できるようにすることが大切です。

例えば、市全体の住民が参加できるようなお祭りや中学生を対象に新恵那市の地域巡りなどをしてみてはどうでしょうか。合併して恵那市全体が広くなったのでいるるな地域を知ることや地域間の交流を深めるという点でもいいと思います。

#### 訪れる人を増やす

訪れる人を増やす方法として、恵那市の観光パンフレットを他の瑞浪市や中津川市などの駅に置くのいいと思います。そうすれば興味を持った人が訪れてくれると思います。また、恵那市のホームページを見たのですが、難しいことが書いてあり、

マップを作成し、全国に恵那市を紹介する場をつくるなど観光産業を活性化させます。

⑧市民の交流の場を増やす。

太鼓をはじめ郷土芸を発表する行事など市民の交流の場を増やします。

#### 自分たちで取り組むこと

自分たちでできることとして次のことがあります。

恵那市についてもっと関心を持ち、よく知って、自分が恵那市市民の一員であるということを実感します。自分たちが何をすべきかを学ぶためにも、しっかりと授業を受け勉強をします。学校の山林学習では山の手入れを一生懸命やります。ごみのポイ捨てはしません、町のごみ拾いをします。ごみを減らす努力をします。リサイクルをします。

電気や水の節約をします。学校でも電気や水の節約に心掛け、その分の税金を福祉などにまわせるようにします。ボランティア活動に参加します。まちのさまざまな活動に参加します。

#### 有本信昭教授のまとめ

大変有意義な機会です。参考になりました。大人の審議会以上の議論をしていると感じました。感想として3

よくわからなかったもので、そこにも観光案内などが載せられるといういい場所の人が恵那市のことを知ることができるのいいと思います。

### 上矢作中学校



安藤 梢さん 石川 祐己君

#### 安心して暮らせるまちを

私たちが望む恵那市は市全体が活気があり、市民が、楽しく安心して暮らせることができるまちです。安心して暮らせるまちにするために次の7つを望みます。

- ①安全なまち＝不審者対策、冬場の下校時の外灯などの整備、交通安全対策など安全なまちを望みます。
- ②福祉の充実したまち＝働きながら子育てをしたり、老人の介護をしたりする負担を軽減するなど福祉の充実したまちを望みます。
- ③便利なまち＝上矢作町ではバスの本数が少なく、高校生は通学を親の車に頼っています。登下校の心配をすることなく部活動に打ち込める環境、高齢者や子どもの交通対策など便利なまちを望みます。
- ④教育の充実したまち＝未来を担う若い世代が、自分の意見を持ち、発言できること、ふるさ

つあります。

①学校間の交流を総合的に、密度を濃く、中学生の横のつながりが広がるよう進めれば、地域社会、大人の世代に広がるのではないかと。

②三世代交流など世代間の交流は、もっと皆さんの若い世代から積極的に提案 発信して欲しい。まず自分の身近なところから世代間の交流を広げていくと、大人やおじいさん、おばあさんの気持ちが良く分かるようになり、心優しい人間になると思っています。

③自分の中学のころを思い出し、心の豊かさや豊かな生活とは何かということを思いました。自然の中で便利な生活は無理があり、どう折り合いをつけるか。例えば名古屋の便利さと名古屋の自然環境。恵那の不便さと自然環境。2つの矛盾したものをどうバランスをとるかが非常に大事なことだと思います。

その時々で自分がやりたいと思うことを一生懸命やるのが一番大事なこと、周りの人、大人やおじいさんの世代ともっと交流し、皆さんがそれぞれ、その時々を有意義に過ごすようお互い助け合えば、豊かな生活になっていくと思います。